

第5回 第四次長野市子ども読書活動推進計画策定委員会 会議要旨

- 【日 時】 令和5年1月24日（火） 午後3時～午後4時
- 【場 所】 第一庁舎4階 教育委員会室
- 【出席者】 委 員 石井春恵委員 岡田まみ委員 小林洋子委員 西澤久美子委員
渡邊望委員
- 事務局 丸山教育長 藤澤教育次長 勝野教育次長
長野図書館長 南部図書館長 健康課長補佐 こども政策課長
教育委員会総務課長補佐 学校教育課長
(家庭・地域学びの課) 野池課長 前田補佐 古平係長 西村主事
- 【会議内容】 1 開会
2 委員長あいさつ
3 協議事項
(1) パブリックコメントの結果について
(2) 第四次計画（案）について
4 答申
5 閉会

<次第>

3 協議事項（1）について

委 員： パブリックコメントの整理番号7番について、「学校司書の勤務時間を正規職員並に」ということであるが、前回の策定委員会でも委員から、学校司書は勤務時間やお金の問題でやりたくてもできない現状があるという話があった。大変厳しいことだとは思いますが、子ども読書活動推進計画を国の法律の下に作っただけで終わるのではなく、本当に長野市が改善していくという前提で、5年後ではなくとも10年後・15年後と長期的な視点に立って、少しずつで良いので、予算付けをしていただきたい。市の考え方には「ニーズに合わせて対応を検討して」とあるが、やはり、予算的な裏付けが無ければここは非常に厳しい問題ではないかと思う。できれば、このパブリックコメントのような方向に行って欲しいという希望を持っている。

もう一点、社会教育委員からの意見の整理番号3番について、「市立図書館でどのようなことをやっているのかは自分で情報を取りに行かなければならない」ということで、市報を使った広報の提案がされているが、市の対応の所には「難しい」と記載されている。難しいと言っていたら今までと何も変わらないと思う。ここ（策定委員会）でも、広報活動が無ければ届かないという話があったと思う。年に1回のところを年に何回か、ほんの僅かなスペースでも（市報へ）図書館からのコ

一時的なものを掲載することはできないか。確か、市報で何度か図書館の記事を見たと思う。

事務局： 南部図書館では、市報の前半部分に1ページや半ページを使って記事を掲載する「特集記事」については、昨年度までは年に2回、移動図書館のルートや時間変更を春と秋に1.5ページずつ掲載していた。しかし、市報への記事掲載希望が多く、今年度は同じ記事を年に2回は載せられないということになり、春1.5ページを使って移動図書館のルートや時間を全て掲載し、秋は2/3ページに移動図書館の時間や場所が変わった所だけを掲載した。また、クリスマス会や夏休みこども会などの各種イベントについては、市報の後方にあるお知らせのコーナー（くらしのチャンネル）へ小さな記事を掲載している。また、今年度から積極的にツイッターを使い、各種イベントやガラスケースを使った展示コーナーについて広報した。サッカーの信州ダービーをテーマに取り上げた展示のツイートに対しては、リツイートされるなど反応を得た。

委員： 承知しました。希望としては（市報へ）継続的に記事を掲載して欲しいなという思いで話をした。

委員長： ありがとうございました。様々な取り組みがある中で、（市報の）ページ数には限りがある。しかし、何とかこの声を聴いていただき、少しずつでも記事を掲載していただけたらと思う。

3 協議事項（2）について

質問・意見なし

委員長： ご意見等はよろしいか。それでは、協議については以上とする。皆様のご協力により計画案が整ったため、これより、最終答申へ移りたいと思う。

4 答申



渡邊委員長から丸山教育長へ答申